

## 「梅津神楽」17演目を奉納 1/17

約550年にわたって受け継がれてきた伝統芸能、訪れた観客を魅了

県指定無形民俗文化財の「梅津神楽」が接岨区の接岨峡温泉会館で奉納されました。

多くの町民や神楽ファンが訪れる中、夕方から深夜にかけて梅津神楽保存会のメンバーや地元小学生らが優雅な舞を披露し、五穀豊穡や家内安全、心身健康などを祈りました。

ユーモラスな所作が人気の「恵比寿大国の舞」や哀愁漂う音色に乗せる「鬼の舞」、素早く華麗な刀さばきを披露した「梅津流太刀の舞」など17の舞が演じられ、笛や太鼓、にぎやかな笑い声やかけ声が響き渡りました。



演者が舞台上を所狭しと舞った「恵比寿大国の舞」

## 1/9 見守りの輪をさらに大きく

行方不明事案の早期解決・安心して暮らせるまちづくりのため、メール配信システムを導入



会場では認知症サポーター養成講座も実施されました

役場福祉課・町地域包括支援センターは「認知症徘徊・行方不明者搜索活動支援システム」説明会を文化会館にて開催し、町高齢者見守りネットワーク協力員など約140人が参加しました。

このシステムは、徘徊のおそれがある町民についての情報(氏名やなじみの呼び名、話しかけるときの注意点など)を家族から承諾を得た上で登録し、メンバー登録した町民の携帯電話に、その情報と搜索活動の協力要請をメール配信するものです。今後は、4月からの本格導入に向けメールの試験配信の実施が予定されています。

## 「落ちない大石」にあやかり合格を 1/26

受験を控える町内3校の生徒に絵馬やストラップなどを贈呈

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合メンバーが川根高と本川根中・中川根中を訪れ、受験シーズンを控えた3年生(3校あわせて63人)に「落ちない大石絵馬」「落ちないっ茶(一煎茶パック)」「絵馬型ストラップ」を贈呈しました。

てんぐと山伏にふんした同組合員から、外森神社の断崖にて数百年とどまり続ける大石にちなんだ合格・安全祈願絵馬を受け取った各校の生徒は「残り少ない時間を大切にしていきたい」「悔いが残らないよう頑張りたい」などと受験への決意を新たにしていました。



本中・中中は1月26日に、川根高校は昨年12月19日に実施

## 観客を魅了した見事な語り

1/24

心がこめられた語りに会場から感動の拍手がわき起こる

中川根語り部の会(澤井初美会長)は「第16回昔ばなし語り部まつり」を文化会館で開催しました。約200人の観客は、メンバー5人と話楽座講師による地元で伝わる民話の語りを楽しみました。今回は初めての試みとして、仏教音楽の一つとして知られる「声明」を、特別ゲストの川根仏教会の若い和尚10人が「～声明～歎佛会」と題し、初披露しました。

澤井会長は「皆さまが毎年会場にお越しいただき、語りを聞いてくれることが話楽座メンバーの励みとなります」と感謝しました。



観客を引きつけた卓越した見事な語り

1/20

## いつまでも健康で元気な生活を

健康長寿のまちづくりに住民が主体となって取り組むことを目的に、介護予防講演会を開催



町内の高齢者や団体職員など約300人が参加しました

町地域包括支援センターは、介護予防講演会を文化会館で開催しました。

はじめに、掛川公証役場公証人の大霜憲司氏による講演会が行なわれ、遺言作成や遺産相続に関する基礎知識を学びました。

次に行なわれた講演会では、レクレーションコーディネーターの小池幸子氏が介護予防の体操や歌・早口言葉などを紹介し、参加者全員で実践しました。小池氏は「日常生活の中で、無理なく楽しみながらやってみてほしい」と参加者に呼びかけました。

## おいしい川根茶を各家庭で味わって

1/14

幼少期より川根茶に慣れ親しんでもらうことを目的に、昨年度から実施

町共同製茶連絡協議会は、町内小中学校の全児童・生徒に仕上茶パックを贈呈しました。

贈呈されたお茶は、同協議会に所属する町内共同茶工場それぞれが昨年が一番茶で生産し町茶品評会に出品した荒茶を混ぜ合わせて仕上げたものです。中央小学校で行なわれた贈呈式では、同協議会の田畑義次会長が「良質な一番茶を各家庭で味わっていただきたい」と小澤敦夫中川根中学校長に手渡すと、小澤校長は「児童・生徒にお茶とともにその心意気を伝えます」とあいさつしました。



40g入りのパックが全児童・生徒に1袋ずつ贈呈されました